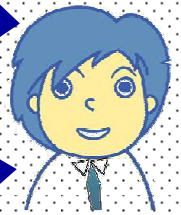




ねっどわーく



■大塚先生・三浦先生、ありがとうございました。

H24.07.18

No.28

大塚先生、三浦先生、お忙しい中、貴重な授業提供ありがとうございました。時期的に難しいところがあったこと、これは年間授業計画を組む上での私のミスです。大変申し訳ありません。

しかしながら、今後の研究を進めていく上で、価値ある授業だったと思います。詳しいことについては、学年の先生方の研究だよりや、授業者のふり返りに譲ることとして、私個人が感じたこと、述べたいと思います。

◎やはり学級経営の大事さ

大塚先生、三浦先生に共通して学級経営がすごいなあと思いました。事後研でもありましたが「あたたかさ」「安心感」ある学級経営でした。これって、どこからきているのかなあと。両先生に共通しているのが、やはり子どもの意見を否定しないこと、何を話しても大丈夫なんだということが子どもに認知されているということではないでしょうか。

場を感じる力、一年生ながらすごかったです。個人的に、プレゼントが一人ひとりから渡されたときに、時間大丈夫かなあとか、下衆なことを思ってしまった私に反省。子どもたちは、みんながちゃんと待っていました。

他を思いやる心、五年生、良かったですね。足の遅い友達を思いやっての発言やルールに関して、素直にあーいいなあと思いました。「もし、わたしが〇〇くんだったら、・・・」などという発言、ほんとよかったなあ(^^)

こういう部分、題材や議題にかかわらず、やはり授業に出るところなんでしょうね。



友達の発言に、みんなの目が
集まる5年生



満面の笑顔の1年生

◎年間計画の大事さ

この時期に、何を題材・議題に持ってくるかということ、これ、みなさん、感じたところかなあと思いました。つまり、年間を通して、だいたいこんなことをという見通しですね。これ、整備していきましょうね。

◎ちょっと思ったこと（ひとりごと）

①みんなが楽しむということ。石川先生ともグループで話し合われたし、秋葉先生からもありました。確かにそうだなあとも思います。ただ、三浦先生の願い「他者を思いやる言動を子どもたちに」といった部分、みんなで、何か一つをめざして盛り上がっていくのって大事ななあ。つまり、みんなが楽しめることはありえないのだけれど、それに向かおうとする意欲を高めるためにはあり？うーん、わかりません。このモヤモヤ感、みなさん、どう思われますか？

②小さな事を大事にするということ。三浦先生の遊びについて、そこまで話し合う必要があるのかという秋葉先生のご指摘。なるほど、確かにと思いました。でもね、授業で取り扱わないにしても、こうした小さな事（遊び）って、日常よくあることですよね。しかも、リアルで自分事。これを話し合わせることで大事ななあと思いますが、みなさん、どうですか？

③だれに向かって発言しているのか、子どもの向き。三浦先生とも話したのですが、まだまだみんなに話すという意識が成長過程と。コの字型にしている意味ですね。